

# 江崎玲於奈賞表彰要綱

平成 15 年 12 月 4 日施行

(目的)

第 1 条 この要綱は、日本国内の研究機関においてナノサイエンスおよびナノテクノロジー、または量子効果が顕わに関わる物性に関する研究に携わり、顕著な研究業績を挙げた研究者に対し、江崎玲於奈賞を授与し表彰することについて必要な事項を定めるものとする。

(表彰の対象)

第 2 条 表彰は、日本国内の研究機関においてナノサイエンスおよびナノテクノロジー、または量子効果が顕わに関わる物性分野の研究に携わり、新分野の開拓が期待できるとともに世界的に高い評価を得た研究業績を挙げた研究者、原則 1 名（共同研究の場合はその研究に対する貢献度合が 3 分の 1 以上の者に限る。）に対して、一般財団法人茨城県科学技術振興財団理事長（以下「財団理事長」という。）及びつくばサイエンス・アカデミー会長（以下「SAT 会長」という。）が行う。

(受賞者の決定)

第 3 条 受賞者の決定は、次により行う。

- (1) 財団理事長及び SAT 会長は、別表に掲げる者に対し、江崎玲於奈賞候補者推薦書（様式第 1 号）により候補者の推薦を求める。
- (2) 財団理事長及び SAT 会長は、受賞候補者を選考するため、別に定める江崎玲於奈賞委員会（以下「委員会」という。）を設ける。
- (3) 委員会の下に、江崎玲於奈賞検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設ける。検討委員会は、推薦依頼先から推薦のあった者について内容を審査のうえ、その結果を江崎玲於奈賞受賞候補者推薦書（様式第 2 号）により委員会に推薦する。
- (4) 委員会は、検討委員会から推薦のあった者を審査のうえ、その結果を財団理事長及び SAT 会長に推薦する。
- (5) 財団理事長及び SAT 会長は、委員会から推薦のあった者を審査のうえ、受賞者を決定する。

(表彰の方法)

第 4 条 表彰は、表彰状、賞牌及び賞金を贈呈して行う。

(表彰の時期)

第 5 条 表彰は、財団理事長及び SAT 会長が適切な時期に行う。

(その他)

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、表彰について必要な事項は財団理事長及び SAT 会長が定める。

別表

推薦依頼先	推薦依頼件数
国内に所在するナノサイエンスおよびナノテクノロジー、または量子効果が顕わに関わる物性関連主要学会等の長	上限を 2 件とする
国内に所在し、ナノサイエンスおよびナノテクノロジー、または量子効果が顕わに関わる物性分野の研究を実施する主要な研究機関及び大学等の長	上限を 3 件とする
つくばサイエンス・アカデミー運営会議委員（江崎玲於奈賞委員会委員及び江崎玲於奈賞検討委員会委員である者を除く。）	1 件

付 則

この要綱は、平成 15 年 12 月 4 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 16 年 11 月 12 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 18 年 11 月 30 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 19 年 12 月 3 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 21 年 12 月 17 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この要綱は、令和 6 年 12 月 16 日から施行する。

## 江崎玲於奈賞候補者推薦書

			推薦順位			
令和      年      月      日						
一般財団法人茨城県科学技術振興財団    理事長 つくばサイエンス・アカデミー    会長 江崎   玲於奈   殿						
江崎玲於奈賞表彰要綱第3条第1号の規定に基づき、下記のとおり推薦します。						
一般事項	氏名（ふりがな）		性別		生年月日	
			男・女・無回答		年    月    日	
	現住所		職業			
	本籍（国籍）					
	職歴の概要（学歴・公職歴・その他の履歴）					
事項	連絡先担当所属		職名		氏名	
					電話： fax： e-mail：	

- (備考) 1 候補者の氏名について、候補者が外国人の場合には、漢字(ある場合のみ)、カタカナ、英語の全ての表記を記載して下さい。また、年齢は本推薦書作成日現在での年齢を記載して下さい。
- 2 「新分野の開拓が期待できるとともに世界的に高い評価を得た研究業績の内容」の欄が不足する場合には、適宜、用紙を追加して下さい。
- 3 推薦書表紙から添付資料の最終ページまで通しでページ番号(下部中央)をつけてください。
- 4 令和8年3月10日までに、推薦書(様式第1号のみ。添付資料は除く。)をPDFファイルでメール送信してください。(送信先：[kagaku@i-step.org](mailto:kagaku@i-step.org))
- その後、事務局から推薦書に記載の連絡先 e-mail アドレスに『推薦資料提出の御案内』を送りますので、推薦書と添付資料(論文)を合わせたPDFファイル一式を提出してください。
- 5 受賞となった場合は職歴の概要等を公表する予定であることを御了承ください。



参 考 事 項	1	主要論文タイトル（前頁に記載した研究内容を確認できるよう、別刷を添付してください。 また、論文の発行年、雑誌名、Citation Index も併せて記入してください。） ※論文は、10 件以内としてください。		
		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
	2	研究主題に係る共同研究者等（候補者及び共同研究者の貢献度の合計が 100% となるように記載してください。また、本賞の受賞資格は、該当研究への貢献割合が 3 分の 1 以上の者となっておりますので、ご注意ください。）		
		氏 名	候補者・共同研究者の別	貢献度（%）
	①			
	②			
	③			
3	論文発表等（本人の貢献度が 50% 以上のもの）			
	①欧文誌	件		
	②邦文誌	件		
	* 全国規模以上の学会誌及びこれに準ずる学術誌に掲載されたレフリー付きフルペーパー			
4	これまでの受賞歴			
	①	年	賞	
	②	年	賞	
	③	年	賞	
5	特許等の取得について（共同研究者、題目、出題番号等、簡潔に記載してください。）			
	①			
	②			
	③			
6	国内外の研究に与えたインパクト			
7	社会に与えた(与える)インパクト			
8	その他（研究主題に関しての補足等）			

注) 参考事項の記入について

- 1) 推薦者による記入をお願いします。
- 2) A 4 版 2 枚以内にまとめてください。
- 3) わかりやすく簡潔に記入してください。
- 4) この推薦書は、推薦ごとに作成してください。

## 江崎玲於奈賞候補者推薦の基準

江崎玲於奈賞表彰要綱第2条に該当する者を候補者として推薦することに当たっては、次の事項に留意されたい。

- 1 現存者であること。（なお、推薦時点において現存者であっても、受賞者決定の時点で現存者でなくなった場合は受賞の対象とならない。）
- 2 令和7年12月1日時点において、日本国内の研究機関において研究を行っている研究者であること。
- 3 共同研究の場合はその研究に対する貢献度合が3分の1以上の者であること。
- 4 過去に以下の賞を受賞した者でないこと。
  - ・ノーベル賞（ノーベル財団）
  - ・京都賞（公益財団法人稲盛財団）
  - ・日本国際賞（公益財団法人国際科学技術財団）